

第3回美祢市総合計画審議会 総合戦略部会 議事録

日時：令和2年2月7日（金）10：00～11：30

会場：美祢市役所 第1・2会議室

	役職	団体名	氏名	出欠
1	部会長	美祢市議会	タケオカ マサハル 竹岡 昌治	
2	副部会長	カルスト森林組合	タカス シュウゾウ 高須 修三	欠席
3		美祢市議会	ナオノ トモカズ 猶野 智和	
4		公募委員	ウエヤマ マサオ 植山 正雄	
5		公募委員	ニシダ サキコ 西田 早紀子	欠席
6		山口県立美祢青嶺高等学校	フジムラ シンイチロウ 藤村 慎一郎	
7		山口県総合企画部中山間地域づくり推進課	イナガキ カイチ 稲垣 嘉一	
8		一般社団法人 美祢青年会議所	ウチウミ ミツオ 内海 満夫	
9		山口県農業協同組合美祢統括本部	シノダ カズヨシ 篠田 一吉	
10		美祢市商工会	ナイトウ マサタ 内藤 正太	
11		美祢市定住促進協議会	ナガタニ アオゾラ 永谷 青空	欠席
12		山口銀行	ヒエダ ユウジ 稗田 裕司	欠席
13		山口新聞	ヒライワ カズヤ 平岩 和也	
14		美祢市地域活動連絡協議会	ミシマ アケミ 三嶋 明美	
15		一般社団法人 美祢市観光協会	ミズタニ マサヤ 水谷 雅哉	

<資料>

次第

資料1 第2期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

資料2 美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

<その他資料>

委員名簿、配席表

1 開会

～資料の確認～

2 部会長あいさつ

～竹岡部会長ごあいさつ～

おはようございます。この会は、元々まち・ひと・しごと創生総合戦略のときからメンバーに残っていただいた経緯がある。今後もお集まりいただくことがあると思っている。今回修正等があるが、皆様にご意見いただき、議会への報告に間に合うようご審議いただきたい。

3 報告

(1) 第1期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について

事務局：資料2について説明

部会長：ご質問等あるか。また、より詳しく説明を求めるところがあるか。

委員：美祢市の認知度が点数で示されて、結果は悪化しているが、この点数はどういった出し方をしているか。

事務局：地域ブランド調査というものがあり、認知度のほか、情報接触度や観光意欲度などもこの調査の中で評価されている。全国の1,000自治体の評価となっている。認知度については、調査自治体をどの程度ごぞんじですかという質問に対して、良く知っているを100点、知っているを75点などと点数化し、加重平均で求めている。

委員：市内の就職率9.3%ということで美祢市内への企業の就職率か。県内の就職率は8割を超えているが。今は一人の生徒に30社くらいの求人が来る状況である。この数値はどういった形でくるか。成進高校も入っているのか。

事務局：市内の高校2校に対する聞き取り調査によるもので市内に就職した方を調査したもの。就職した方が母数となる。人口定住から言えば、市内に住んで近隣に通うという考え方もあるが、この時の基準は市内就職率を基準にしたものである。

委員：農林業の振興と担い手の育成のところで、新規就農者の30年度実績で10人となっているが、市内外など地区を分けるとどういう構成か。新規就農者となるのは、自ら農業経営者となるのか、法人に就職するのかどうか教えてほしい。

事務局：新規就農者は、就農計画を提出した10人となっている。

委員：地区内で農業後継をする人が少ない。若い人はいるが、土日に手伝いということも親が寛大になっており、させないような状況。一部分でもかかわることが少ない。退職後もその傾向は続く。退職した人を呼び込んでも入ってもらえない状況がある。意識改革が必要だと思っている。地区外から来ている人も多いのではないかなと思う。

事務局：新規就農者の就農地区としたら秋芳、美祢が多い。年齢的には27歳から53歳までの人がいる。新規就農者の定義は、青年等就労計画認定制度に基づいて就農計画を提出したものである。

委員：ちょっとの間でも、小中学校の頃でも農業体験をしていることが必要だし、家族で話し合うことも重要。非常に危機感がある。

4 議事

(1) 第2期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(第二次美祢市総合計画 総合戦略実施計画)

事務局：資料1について説明

部会長：この総合戦略については、総合計画の第4章で、内容やKPIについてはご審議いただいたものである。具体的な取組が新たに加えられているので、それについてご質問等あるか。

委員：いろんな目標が挙がっているが、主体としてどこが担当になるのかが知りたい。5か年の計画でほとんどの取組が5年で1本の線が引いてあるが、優先順位などがもう少し具体的にわかればと思った。

5年間で定期的に報告があると思うが、これに関するウェブサイトなどで進捗確認できる仕組みがあればありがたい。

29Pでジオパーク活動(SDGs)の取組とあるが、SDGsは世界的にはかなり活動が進んでいる。日本はようやく進みだした段階。市民として教育しているような取組があるならそれ以上ないことだが、まだならぜひ講習など取り組んでいただきたい。

実際やるとなった際には講演をウェブで同時配信や録画配信などの仕組みもお願いしたい。

事務局：取組の区分、優先度については、できる限り各課と調整しているが、ある程度大きな分野になってしまうため常にやり続けるものが多くなっているため、年次の区分が少なくなっている。

これまで同様であれば進捗管理の際に所管課が示すことになる。

ウェブサイトの進捗報告は年度ごとでの報告になろうかと思う。

SDGsについては市全体としてまだ先進的とは言えない状況なので、これから市として考えていかなければならない。

部会長：この会議の位置づけを教えてください。

事務局：まち・ひと・しごと創生総合戦略の目的として人口減少対策と地方創生の考え方がある。地方創生については国から推進交付金がでることになっている。この交付金を受けるには、地域再生計画を立てて申請するが、その際にはこの総合戦略の計画に事業が載っている必要がある。これに関連する取組は積極的に載せている。人口減少に役立つ事業も同様である。

部会長：総合戦略会議については、また集まる可能性が高い会議で、計画を推進するためのエンジンだと思っていただきたい。追加修正なども出てくる。

事務局：今後も随時事業の追加や改訂、見直しの必要があろうかと思っている。

委員：市内のタクシーも夜9時以降走らない。具体的に実施するかは別であるが、公共交通機関の維持やソサエティ5.0について書かれているが、バスの運転手の確保が難しい中で、自動運転の実証実験とか美祢市でやるようなことが入ってもよいのではないかな。そこまで踏み込んでみてはどうか。

事務局：人口減少、顧客の減少によるタクシーの営業時間の短縮については聞いているし、対策も必要だと思っている。自動運転を含めて、方向性が定まれば会議で検討して事業として計画に追加していきたいと思っている。現状は、地域情報化計画の推進の中で網羅していくと考える。

部会長：5Gももう少ししたら明確になる。

事務局：ローカル 5G について、小さな田舎の拠点に 5G を設置してスマート農業など、地域の活性化の取組を募集するような形が進んでいる。方向性が見えてくればまたお集まりいただくこともあろうかと思う。

部会長：タクシーの件も原課では対応しているのか。

事務局：根本は運転手の問題であると聞いている。それに対して、直接的な市からの支援がよいのか、2 種免許などの補助という形がよいのかなどは検討している。

委員：SDGs は高校でなすべきことが大きい。環境というところで、2 つの高校はリードできると思う。みね型地域連携教育について、各中学校区のコミュニティをより連携しようという形ができたので、美祢がなにを目指していくのかが見えてくる。

部会長：より具体的なそれぞれの計画は出てくる。基本的なものが決まってから枝葉が出てくる。商工会はどうですか。

委員：商工会は、外部を向くよりも内部の維持存続をしないとイケない。ほとんどが補助金などでなりたっている。逆に、起業したい人に、助成金など出したりできるように考えていきたい。

部会長：起業、事業承継、できれば廃業される前にどうするかなど。

委員：金融機関的には安く借り入れできるような支援はやっている。

委員：いまの若い子たちを定住できるように出会いや結婚、出産につながるコンパのようなものを会社同士でやらないかという話があがっている。今すぐにでも第 1 回目を市の方で開催してもらおうのほうかと思っている。やるということになれば、声掛けなどしっかりさせていただく。

事務局：結婚支援については、新年度の方策を今考えている。市の考えは、市が主催で結婚のイベントを開催する方向性はいまのところ考えていない。応援していただける企業などに支援する形なら想定がある。若い人、30～40 代の地域の活動団体があるが、結婚イベントなどと名前をつけると人が来ないので、マルシェなどの団体同士の交流を産むことで、そういった出会いの場につながるのではないかと考えている。

委員：ランタンイベントで市からも声をかけていただいたので、そういった出会いイベントなども考えている。

委員：情報共有だが、U ターンでココニールさんというゲストハウスができた。今度婚活イベントをやるそう。若い人たちに効果が出てきているので、情報共有して協力、支援していくのがよいのではと思う。官制でやるのはいいことはない。

部会長：いろいろ意見がありましたが、今後のスケジュールの関係で、字句等の修正があった場合は、会長、副会長に一任ということで御理解を願いたい。

委員：(了承)

部会長：その他何か意見があれば。

委員：タクシー、交通機関が少なくなっていて飲み会でもお酒を飲まないようにすることも増えてきている。タクシーだけでなく、それに関連する産業自体の危機がある。高齢者や買い物弱者にとってもタクシーは非常に重要なので、大きく取り上げていただきたい。26P に公共交通機関に関するものがあるので、そこにタクシーを含めてどうやったら支えることができるか。民間企業を直接支えることは難しいかもしれないが、間接的なものでも良いので、この地域、過疎地域において、高齢者の免許返納、観光面でも、できるだけ大きくタクシーも含めて、できれば重点項目として扱ってほしい。

部会長：2 種免許の話をしたが、可能なら白タクの起業化ができればよいのではという話がある。

タクシーが止まると観光もそうだが、夜救急車が出る回数も増えてしまうなど、ほかの影響もあろうかと思う。また、具体的なものができてくれば、皆さんにお諮りすることがあろうかと思う。

委員 : SDGs については、青年会議所で SDGs を日本一推進する団体になるという目標を掲げて活動を進めているが、SDGS カードゲームについて、講師になるための予算を市から支援してもらい、学校などに教えにいくなどできればよいと思う。

委員 : 大人が考え方を改めるのもそうだが、小学生でもできるようならどんどんカードゲームなども取り入れてほしい。

事務局 : 青年会議所は、ランタン祭りで e スポーツなど新しい試みを始められて、今年のランタンでは SDGs カードゲームもぜひやっていただきたい。

委員 : 計画ができて、市民が知っていないともったいないので、市民がもっと目に触れる知れるきっかけがあると良いと思う。

事務局 : 概要版は全戸配布する。概要版は、基本構想、基本計画、総合戦略の体系を載せたものとなっている。ホームページについても市として見直しを考えている。新しいホームページの中で、より分かりやすいものとなるよう工夫していく。

委員 : 発信の仕方として、1 年ごとではなくて間を取って、今月はコレのように重点的に状況や方向性などを 1 年かけてなどが良いのではないかな。

委員 : 市民が協力できるところはあるが、行政が頑張らないといけないこともある。市民が頑張してほしいところを特化して発信するのがよいと思う。

委員 : 7P キャッシュレス化の推進の市観光施設とは市の施設だけの話で、そのあとのキャッシュレス化の推進は商工会関係の話で、市だけの話をここに単独で載せるのか。すでにこれはやって当たり前なのでは。

事務局 : 7P については市の観光施設のことについて書いている。

委員 : 1 年前だとわかるが、すでに皆さんキャッシュレス化しているので、自然の流れでやって当たり前のようになっている。市内企業に広げることは意義がある。

事務局 : 市観光施設のみの推進ではなく、KPI にもあるように民間についても支援をして進めたいと思っている。

委員 : 正直商工会の会員はまだな現状。

委員 : SNS で情報発信しようとなみなさんが使わないと。店に行って使えないの？ってプレッシャーかけないといけない。

5 閉会